

# 販促会議6月号にコラム掲載 “環境に配慮したノベルティのメリット”



販促会議6月号、株式会社宣伝会議刊

宣伝会議が毎月発行している販促プロモーションやPOP関連の定評ある情報誌「販促会議6月号」にカルネコ事業部の広告と、もらって嬉しいプレミアム&ノベルティ特集“環境に配慮したノベルティのメリット”のタイトルでEVI加藤が寄稿した文章が掲載されています。ノベルティに木を使うことで日本の環境を守ることにつながるという内容です。ぜひご覧ください。

<http://www.sendenkaigi.com/books/hansokukaigi/>



[COLUMN]

## 環境に配慮したノベルティのメリット

自社のブランディングや利他主義のためではなく、環境面・社会面のサステナビリティ活動を視野にプレミアムやノベルティを考えてみてはいかがでしょうか。

<文>加藤 幸一氏 カルビー カルネコ事業部 事業部長 地域活性化伝道師

### 「木を使う」ことをおすすめします

いま求められるノベルティとは何でしょうか。ひとことで言えば「木を使う」ことを通して地球温暖化を抑制するお手伝いができるということです。

日本の森林の面積は国土の約70%。世界の陸地の約30%が森林であることと対比すると日本は森林が豊かな国。

森は太陽の光で光合成を行い、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）を吸収し、O<sub>2</sub>（酸素）に変換します。森は温暖化を抑制する機能に恵まれた国であるといえるのです。

しかし、それは日本の森が手入れされてこそ話。残念なことに木材自給率は27%を割り込み、欧米の人たちは、それだけの森林面積がありながら、なぜ73%以上も外国の木を輸入する

の不思議だといえます。

木材の取引価格は自給率の低下とともに下落し、ひとところの25~30%とも言われています。この状態で日本の森が本来の機能を発揮できるのか…。森は手入れ=木を切り出した後の植林や生育過程の間引き（間伐）をすることによって本来の機能を発揮することができるのです。間伐した木材は切り倒されたままにするよりも木材製品として活用し、森を守る人たち=林業を支えられる収入につなげなければなりません。戦後の復興期に植えた木たちは今70年を経過し、収穫期を迎えています。間伐材を活用した木製管の利用など、身の回りにあるすべてのアイテムを木に変えるくらいの取り組みが必要です。

企業の皆様にはノベルティをお考えの際にはぜひ、「木を使う」ことをおすすめします。それが日本の環境を守ることにつながるのです。



未来を創るカルネコの先進サービス

- メッセージツールによる売り場づくり
- カルネコシステムの利用で環境貢献!
- EVI SHOP

お知らせ EVI環境マッチングイベント東京2015 開催決定! ともに、創ろう。日時: 10月19日(月) 場所: 東京国際フォーラム B7ホール

カルネコ

カルネコ事業部の環境プロモーションを訴求した広告